

## 議案第 1 号

### 横手北スマートインターチェンジ整備効果及び利用促進策について

#### 【要旨】

昨年度までの横手北スマート I C 地区協議会で承認いただいた、横手北スマートインターチェンジの利用促進策の実施状況と、データ収集等により検証を行った整備効果について報告するとともに、今後の利用促進策を協議いただくもの。

#### ▼利用促進策

##### ○横手北スマート I C の周知徹底・強化

- ・横手北スマート I C 利用促進のためのチラシを作成し、横手北スマート I C 周辺地域及び十文字 I C 周辺地域へ全戸配布したほか、横手体育館、道の駅十文字へ設置

#### ▼整備効果

##### ①供用開始後 5 年目の利用状況

- ・横手北スマート I C の 1 日あたりの平均利用交通量は、計画交通量 970 台/日に対し 1,000 台/日 (+30 台/日)
- ・横手北スマート I C と前後 I C (横手 I C ・大曲 I C) の 1 日あたりの平均利用交通量合計は、横手北スマート I C 開業前の約 10,600 台/日に対し 9,400 台/日 (▲1,200 台/日)

##### ②高速道路の利便性向上

- ・大森・大雄地域や市北西部からの高速道路へのアクセス性が向上し、地域住民の広域活動の活性化につながっている。
- ・曜日毎の利用状況を分析した結果、横手北スマート I C は日常利用が多いことが推察され、周辺住民の利便性向上につながっている。

##### ③地域活性化の支援

- ・各種イベントや温泉施設等の利用者の誘客につながっている。地域間交流の促進に寄与している。

##### ④医療支援の強化

- ・大仙市から平鹿総合病院への救急搬送時間が短縮され、救急救命医療に貢献している。

##### ⑤地域災害支援の強化

- ・災害応援自治体から横手市内の洪水避難場所への迅速な救護活動、救援物資輸

送が可能となり、地域住民の安全・安心につながる。

▼今後の利用促進策

○E T C割引内容や利便性向上の紹介を盛り込んだポスターを作製

・ドライバーの目に留まりやすい箇所へポスターを設置してP R活動を実施

▼その他

○大曲花火大会当日の横手北スマート I C利用状況の紹介